

「たけくらべ」ゆかりの地を歩く



樋口一葉「たけくらべ」ゆかりの地

- ① 竜泉寺** ●台東区竜泉2-17-15
 竜泉寺の創建は古く、慶長から元和（1596～1623）の間とされている。「旧竜泉寺町」の町名もこの寺の名にちなんで付けられた。
- ② 千束稲荷神社** ●台東区竜泉2-19-3
 創建は江戸時代初期、明治5年以降竜泉寺町の氏神となる。「たけくらべ」では8月20日の夏祭りをきっかけに物語が展開する。現在の例祭は5月第4土、日曜日。
- ③ 浄閑寺（投込寺）** ●荒川区南千住2-1-12
 吉原遊廓で死んだ25,000人もの遊女が、この寺に投込まれるように埋葬されたことから投込寺と呼ばれるようになった。境内にはその霊を慰める「新吉原総霊塔」が建てられている。
- ④ 日黄不動尊** ●台東区三ノ輪2-14-5 永久寺内
 江戸五色不動のひとつとして知られている。寛永年間（1624～43）の中頃、徳川三代将軍家光が天海大僧正の具申により、江戸府内の名のある不動尊を指定したと伝えられている。
- ⑤ 大音寺** ●台東区竜泉1-21-17
 『たけくらべ』の竜筆寺のモデルといわれ、竜泉寺町の中心に位置していたことから、付近一帯を称して大音寺前と呼ばれていた。
- ⑥ 朝日辨財天（水の谷池跡）** ●台東区竜泉1-15-9
 明治期は「水の谷の原」と称し、『たけくらべ』にも登場する。かつては松山城主水谷勝隆の下屋敷があった。邸内には池があり、弁財天の信仰が厚かった勝隆が祀ったのが朝日辨財天の由来である。
- ⑦ 御行の松** ●台東区根岸4-9-5 西蔵院外仏堂不動堂内
 江戸時代から「根岸の大松」と親まれ、江戸名所図会や広重の錦絵にも描かれた名松。現在の松は三代目だが、初代は350年以上前のものといわれている。
- ⑧ 三島神社** ●台東区下谷3-7-5
 境内社には江戸時代に勧請されたといわれる火除稲荷が火難除、商売繁盛の神様として鎮座している。また、井戸に雷の子どもを閉じこめたという逸話もある。
- ⑨ 小野照崎神社** ●台東区下谷2-13-14
 創建はかなり古く、社伝によると仁寿2年(852)で、現社殿は慶応2年(1866)に造営されたもの。祭神は足利学校の創始者であり、平安初期の学者、詩人としても有名な小野篁(たから)。
- ⑩ 太郎稲荷神社** ●台東区入谷2-19-1
 江戸期は「太郎稲荷社」の名で立花飛騨守の下屋敷内にあった。「たけくらべ」の美登利が「姉さんの繁昌するように」と願をかけ、毎朝参拝した神社。
- ⑪ 鷲神社** ●台東区千束3-18-7
 西の市は鷲大明神の祭礼で、11月の酉の日に行われる。三の酉までである年は昔から火事が多いといわれている。別名熊手市ともいい、縁起物の熊手を求める人々で賑わう。
- ⑫ 飛不動尊** ●台東区竜泉3-11-11
 正實院は享祿3年（1530）の創建といわれ、本尊は木造不動明王坐像で「飛不動」の通称で知られている。近年は航空安全の守護神として有名になり、空の安全を祈願する参詣者が多い。
- ⑬ 吉原神社** ●台東区千束3-20-2
 吉原神社は明治8年（1875）遊廓内にあったいくつかの稲荷社などを合祀して創建された神社。吉原の花魁も参拝したという。現在は浅草名所七福神の弁財天に数えられ、毎年1月には参拝客で賑わう。
- ⑭ 吉原辨財天** ●台東区千束3-22-3
 江戸時代初期、吉原遊廓造成の際に池の一部が残され、いつしか池畔に弁財天が祀られ遊廓楼主たちの信仰を集めるようになった。美山の上の観音像は、関東大震災の犠牲者を供養するため大正15年に建立されたもの。
- ⑮ 戻返り柳** ●台東区千束4-10-8前
 吉原遊廓の名所のひとつで、遊び帰りの客が後ろ髪を引かれる思いを抱きつつ、この柳のあたりで振り返ったことからその名が付いた。